

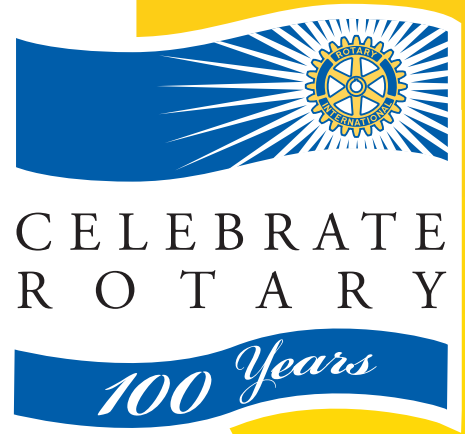
国際ロータリー 第2510地区

2004-2005年度

ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区
2004-2005年度ガバナー 遠藤 秀雄

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 恵愛病院2F
TEL : (0143)82-2510 FAX : (0143)82-2512
e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL
2004-2005
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ロータリー発祥の地でロータリーを祝おう	2
ガバナー's LETTER	3
ガバナー日記	4
9月は新世代のための月間です	9
ライラセミナーのご案内	10
地区委員会活動報告	
・交換学生歓送迎会&長期派遣候補生面接	11
・インターアクト研修旅行報告	13
ロータリー財団地域セミナー報告	14
ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い	15
地区大会プログラム詳細	16
第13回GSE派遣団員募集	18
第3350地区(タイ)派遣GSEチームメンバー紹介	19
2004年規定審議会リポート	20
ロータリー文庫通信/RI会長代理決定	23
ハイライトよねやま54	24
10月は米山月間です	25
我が街・わがRC 歴史散歩	26
こんにちは! 第5グループです 遠藤ガバナーメジャードナーになりました	27
掲示板/ガバナー事務所からのお願い	28
7月会員増減数・出席率報告	29
新入会員のご紹介/訃報	30
9・10月地区カレンダー	31

2004-2005 Governor
ENDO HIDEO

Keiai Hospital 2F, Washibetsu-cho, 2-31-1, Noboribetsu, Hokkaido, 059-0034, JAPAN
(e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp) TEL.81-143-82-2510 FAX.81-143-82-2512

No.3
2004.9

ロータリー発祥の地でロータリーを祝おう



オン・ツー・シカゴ委員会

委員長 小林

博(札幌北PG)



ロータリーの100年を記念しての国際大会がロータリー発祥の地のシカゴにて行われる。予定は2005年(平成17年)6月19日(日)から6月22日(水)までの4日間である。

この記念すべきシカゴの国際大会に、2510地区ロータリアンの出来るだけ沢山の参加

が望ましい。大会中には国際色豊かな衣装でミシガン湖沿いのパレードのほかマラソン、ウォーキングなど100年にふさわしい企画があるとのことである。

登録とホテルの予約締切は2004年12月末日となっている。各クラブ単位で希望者取りまとめのうえ出来るだけ早目にJTB札幌三越前支店 担当柴田勝浩氏宛に行っていただきたい。ホテル名は未定であるが一括の予約を予定している。

登録申込書式、ホテル予約書式はガバナー事務所にある。地区としての行程表(案)は右記のとおり(成田での前泊要)一案のみ用意した。北海道ナイトは2005年6月18日(土)夕刻を予定。閉会式(6月22日)の出席を希望される方は1泊追加が必要であるが、そのご希望はJTB宛にしていきたい。宿泊費その他の詳細は決定次第改めてお知らせする。

行程表 国際ロータリー国際大会 シカゴ 5泊7日

日次	月日 曜	地 名	現地時間	交通機関	旅 程
1	2005年 6/17 (金)	新千歳空港発 羽田空港着		航空機 JL	夜便にて東京へ(前泊) 成田前泊 約25分間接続時間が不足 している為前泊必要 成田泊
2	6/18 (土)	成田空港発 シカゴ着	11:45 09:05	航空機 JL010	一路シカゴへ直行便利用 空港より車で約40分 北海道ナイト予定 シカゴ泊
3	6/19 (日)	シカゴ			シカゴ泊
4	6/20 (月)	シカゴ			シカゴ泊
5	6/21 (火)	シカゴ			シカゴ泊
6	6/22 (水)	シカゴ発	11:35	航空機 JL009	ホテルより空港へ 車で約40分 一路日本へ
7	6/23 (木)	成田空港着 成田空港発 新千歳空港着	14:40 18:30 20:05	航空機 JL3047	入国手続後国内線で北海道へ 無事到着おつかれ様でした。



Gガバナー's レターOVERNOR'S LETTER

新世代月間を祝おう

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄



昔、私の中学・高校時代には上級生が下級生に暴力を振るったり運動部員の制裁行為があったが、相手に重症を負わせたり死に至らしめる事件は記憶にない。「引きこもり」や「家庭内暴力」が紙面をにぎわせて以降、

若者の重大犯罪が放置されるようになって来た。これら犯罪行為は次第に低年齢化し近年は小学生が殺人犯のケースまである。最近は見知らぬ子供をゲームセンターに誘った上、駐車場の屋上から突き落とししたり、いらいらするからと道を歩いている人を刺したり、卒業アルバムを見ていたら学生時代いじめにあった事を思い出し、相手不在のため身代わりにその母親を刺し殺したりする事件が放置されている。

犯罪者の生い立ちや事件に至るまでの深層心理は闇の中であるが表面的には非常に短絡的に思われるし事件によって自分が法的にも社会的にも、どう扱われるかは全く眼中に無いように思われる。世の評論家諸君も家庭教育だ、学校教育だ、世相のせいだと当たり前のことを言うが決め手になるような解決法は誰にも判らない。

一方、アテネでオリンピックが開かれている。メダルを目指して懸命に努力して、また成果をグランドやプールやマットの上で披露し表彰台の上で見せる笑顔の美しさ、また高校野球で厳しい辛い練習を耐え抜いて来た球児達の甲子園で見せる涙や拳を突き上げる雄

叫びに感動してしまう。

若者からひたむきさとほとばしるエネルギーを貰ったようで勇気づけられる。

我々ロータリアンとして今月は新世代月間である。

奉仕の心と国際理解に貢献する心を持つ若い人の育成を支援するために用意されたプログラムである。現在世界にはインターアクトクラブは9,661あり、会員数は22万人以上で日本には526クラブあり5番目に多い。

ローターアクトクラブは7,663で約176,000人、日本は408クラブで4番目に多い国でこれら若い人達の育成には最も力を注いでいる国の1つである。今月はRYLAセミナーが行われる「人権」をテーマにどんな発言があるのか大変楽しみでもある。若者に限らず目的を持って懸命に努力している人はイキイキとして美しい。我々も常に美しい姿で若い人達も接してゆきたいものである。その成果はやがて各々の地域で花開くことであろう。



ガバナー日記

7月15日(木) 第6グループ関幸吉ガバナー補佐に同伴して頂き、小樽、小樽南、小樽銭函RCの3クラブに公式訪問させて頂いた。歴史の異なる3クラブはそれぞれクラブ運営に特徴があり、適度な緊張の中で仲良く活動している感じが感じ取れた。小樽銭函RCは会員数は少ないが年々増員しているのは立派である。例会後に小樽RC熊澤会長他の御案内で「ロータリーの杜」や水飲み場など社会奉仕活動の一端を拝見し、地域に溶け込んでいる活動に感銘を受けた。



7月17日(土) 地区社会奉仕委員会による「ロータリーの社会奉仕活動に関する意見交換会」が第7,8,9,12グループを対象に苫小牧市で開催された。地区委員、各クラブ社会奉仕委員長の皆さんが活動報告と活動計画を述べ合い、多岐に亘る活動内容をお聞かせ頂いた。地区子ども奉仕委員会の米山道男委員長(札幌北RC)からは、ボランティアとして登録される会員がもっと増えて、地区全体の子ども達の役に立ってもらえればとの希望が、また地区家庭奉仕委員会の大場公孝委員(上磯RC)からは、設立主旨を互いに共有して活動し、輪が広がることを期待する意見が述べられた。地区社会奉仕委員会対木正文委員長(札幌西RC)

から、クラブ社会奉仕委員会をサポートし、合同意見交換会をこの後滝川、函館、札幌で開催する予定が示された。

7月20日(火) 第4グループ小山秀昭ガバナー補佐と一緒に札幌西RCを公式訪問させて頂いた。矢橋会長、石丸幹事と会員増強、クラブ運営、地区大会出席のお願い等懇談した。例会には、これから出発される奨学生2名が出席され、希望に満ちた挨拶を頂いた。例会冒頭に音楽委員会の皆さんを先頭に札幌西RCの歌を全員で元気に歌われ楽しい例会であった。



7月22日(木) 今日の公式訪問は、小山ガバナー補佐と一緒に札幌西北RC、札幌あけぼのRC、札幌手稲RCで3クラブの会長、幹事さんと順番に懇談した。会員増強と青少年問題に熱心に取り組んでおられた。中でも札幌手稲RCは大幅に会員を減らしている中で区内7高校に各1名の奨学金制度を続けておられる。大変な負担であると思われるが、これら学生の進路を毎年調査してコンタクトを得られるとクラブの大きな財産になるであろうと考える。合同例会は、和やかな雰囲気での楽しい時間を過ごさせて頂いた。特にオーストラリアに派遣される交換学生の進藤沙也加さんが私の話を熱心に聞いておられた姿が印象的であった。

18:30から地区GSE委員会が行われた。今年はタイ第3350地区から団長以下5名のチームを10月にお迎えすることになっているが、8月中旬にならないと団長以外の4名の団員は決まらないそうで、さすがタイ国、悠久の流れを

No. 4

Date 04. 9. 1

感ずる一方、受入れ側の当地区では委員会で既にきっちりしたスケジュールが出来ている。11月には明年度第3350地区に派遣するメンバーの選考が始まるが、団長には土橋信男委員（札幌南RC）が決定されている。これでまた国際交流の場が広がっていく。



7月24日（土）午後4時から補助金・補助金監査委員会とロータリー財団委員会、100周年委員会が別々の場所で開催され、掛け持ち出席となってしまった。まず補助金委員会では冒頭、私の誕生日ということで、思いがけない美味しいケーキを皆で一緒に頂戴し感激した。2003～04年度の活動報告と会計報告、監査報告が行われ、年度をまたぐ継続事業も進行中であること、新年度の活動計画、新規補助金の申込み審査が行われた。

私は中途退場し、100周年委員会に出席、計画事業として韓国第3700地区との親善交流問題や雪まつりの期間、ロータリアン、留学生、学友によるボランティア活動など100周年にちなんだ活動等について話し合われた。

その後、ロータリー財団委員会に合流した。国際親善奨学金委員会、研究グループ交換（GSE）委員会、財団学友委員会、補助金委員会から活動計画が示され、大村孝男委員（千歳RC）から財団増進についてこれまでの報告があり、財団委員皆で協力して増進にあたることを確認した。04～05年度年次プログラム寄付申告額一覧を見ると、72クラブ中18クラブが1人100ドルを割っている。「every Rotarian, every year 100\$」を目指して努力してゆきたい。

7月26日（月）第4グループ小山ガバナー補佐とご一緒に公式訪問。札幌はまなすRCは、会員数が減少する中全員が石狩市ボランティア協会に所属し、一緒に地域活動に汗を流しておられる。また、米山奨学生、交換留学生や財団奨学生の受け入れに積極的でアットホームな雰囲気の中で明るく活動しておられる。札幌モーニングRCは12の同好会を持って会員相互の親睦を図っておられる。「カミネッコン」というボール紙の箱形容器に苗木を入れて、小学生、PTA、森林ボランティアと一緒に植樹のお手伝いをする大変ユニークな奉仕活動をおられる。札幌北RCは、一時大勢の退会者が出る不幸に見舞われたが、全員でこれからの新しい方向性を見出そうとする熱意が感じられた。深浦会長はじめ会員の皆さんにエールを送りたい。3クラブ合同例会は大変和やかで同級生はじめ友人の皆さんからガバナー歓迎のニコニコ募金をして下さったことが大変嬉しかった。



7月29日（木）丸山淳士第5グループガバナー補佐、伊奈昭夫地区代表幹事とご一緒に、札幌ロイヤルホテルで公式訪問。札幌東RCは地区内で1,2を競う会員数を誇るが、インナーホイールクラブやイーストハーモニー合唱団の活動で親睦をはかり、一緒に地域奉仕活動も活発である。一例としては余市銀山学園の慰問である。新札幌RCは資源リサイクル活動を軌道に乗せるべく継続しているが、新世代や子ども奉仕にも力を入れようとしている。会員増強に対しては危機感を持って取り組んでおられる。札幌セントラルRCは会員数19名と少なく、一時クラブ内で混雑が

あったが、融和がはかられ出席率も良くなってきて、これから再び奉仕活動を推進するが、まずは親睦をはかられることが必要。合同例会には、94歳の宇佐美定男名誉会員（新札幌RC）もお元気に出席され、改めて健康と奉仕の関係を認識させられた。



18:00から今年度第1回目のガバナー諮問委員会を開催。伊藤義郎PGと森本正夫PGが出張のため欠席された以外は全員の出席を頂いた。

本年度開始に当たって 地区大会については私から説明しご理解、ご理解をいただいた。100周年記念委員会の報告を岩城秀晴委員長にお願いし、会員には明年2月23日に全クラブが例会を持つこと。IMIに代えて各グループでシンポジウムを開いてもらいたい。ポリオ撲滅キャンペーンへの協力、雪まつりへのロータリー独自の活動協力。例えば、交換留学生、財団学友、米山学友と一緒に外国人に対するガイド、来日中の交換留学生の雪像作りが考えられている。また、第3700地区（韓国）との友情交換について色々な意見が出された、友好と姉妹との関係、目的、費用負担等、これから煮詰めていくが慎重にやってゆく方向で考える。100周年に因んで、日経新聞に全国版で広報記事を書けることがガバナー会で検討されているが、2億数千万円の費用とその効果から問題にならず、隣の第2500地区では北海道新聞に広報活動を行うという情報があるが、効果の割に費用が疑問視されることから当地区ではこのような広告活動は行わないことで了解された。新潟、福井災害義援金、「虹と雪のパラード」詩碑建立の寄付、長野県で開催されるスペシャルオリンピック及びト

ーチラン・ホストタウン・プランニングに対する寄付などがあるが、いずれも任意の浄財を寄付していただきたいとのことで合意が得られた。ロータリーの任意団体である「ロータリー歴史と伝統を守る会」が中心となって、かつてのポール・ハリスの住宅であったカムリーバンクを買ってR Iに寄贈し、維持管理を任せる件ではR Iとの間で最後のつめが行われている段階で、決定され次第広く寄付をお願いする要請があった。オン・ツー・シカゴ委員長の小林博PGから、シカゴ大会の旅程の原案が示されたが、一部修正し具体化される予定。佐藤秀雄直前ガバナーからの2510地区「ロータリーの友委員会『年報』(03~04)」を頂戴した。「ロータリーの友」に関するアンケート集計結果が出ている。

7月30日（金）昨日に引き続き丸山ガバナー補佐のご協力を得て、公式訪問。札幌真駒内RCは会員増強と共に、山鼻地区の青少年の音楽活動の支援やポートランド、台湾との交流を予定している。札幌清田RCは若さと協調性を利点として地域社会における奉仕活動を広報して会員獲得に力を入れている。ふれあい事業として児童施設の訪問が計画されている。札幌幌南RCからは難しい2つの質問をいただいた。1つ目は女性会員の入会問題。地区内でも女性会員が段々増えてクラブ数も半分を越えたこと。東京恵比寿RCでは100名近い会員で男女比が殆どないこと。外国では女性のガバナーやパストガバナーが目につくことなどから、私は賛成であると申し上げた。2つ目は札幌北RCからも同じ質問をいただいたが、1つのクラブから大勢の地区委員を出していることに偏りを感じるし、会員数が



No. 6

Date 04. 9. 1

減少している今、クラブ活動にも影響が出るのご意見であった。私も常に気になっていた問題であり、多少修整したつもりであるが、地区委員3年制及び専門性も加わる問題もあり一気に修整とはいかない面もあるので、もうしばらく時間をいただきたいと申し上げた。札幌大通公園RCは創立4年目であるが、低額の入会金、会費で集まりやすい夜間例会、平均年齢49歳と若く、英語例会、電車例会、今年はお座敷列車例会などユニークな例会で親睦を重視しておられる。また、ポリオ・プラス街頭募金活動や財団留学生の受入にも積極的に期待される。

8月3日(火) 第1グループ山本三次郎ガバナー補佐と一緒に、深川RCと妹背牛RCの順に会長、会長エレクト、幹事の懇談会を行った。深川RCは新年度早々2名の入会があり、下半期にも2名を予定しているとの嬉しい報告があった。また、ロータリー財団、米山奨学会への寄付では例年模範的のクラブであるが、今年も気を抜かず頑張りたいと力強いお話を頂いた。8月に財団奨学生の小橋麻美さんが帰国するので、リサイクルを開いて市民にアピールしたいとのことであった。妹背牛RCは会員数10名の小さなクラブで厳しいクラブ運営を強いられているが、会員が各々子ども奉仕をしておられる。妹背牛には国際大会も開けるカーリング場があり、その役員である長田宗正会長も子ども達の指導に当たっておられる由で、是非地区子ども奉仕委員会に登録をしてクラブの事業とすることをお勧めした。その後の合同例会は和やかな雰囲気、どの例会場でも必ず知人、友人にお会いでき無事を確認できることは嬉しいもので、ロータリアン冥利につきる。

8月4日(水) 小山ガバナー補佐と一緒に札幌RCを公式訪問。何と言っても日本で8番目のクラブであり、当地区としても重みは大きい。型通り会員増強、R財団、ポリオ・プラス、米山奨学会に対してのご支援をお願いした。松本会長からすべて了解しているし、準備も整えているとの力強いお言葉を頂き大変嬉しかった。例会は落ち着いた和やかな雰囲気、余り緊張せずに過ごせたことに感謝をしている。また例会前に久しぶりに元RI理事伊藤義郎PGと短時間ではあったが懇談でき、大変有意義であった。

小山ガバナー補佐には4回の例会にご同行願ひ、事前に適切な各クラブの特徴をアドバイス頂き中身の濃い懇談が出来たことに感謝を申し上げる。

例会後、明日の目的地羽幌に向かった。道中は長く留萌から北へ更に60Km近くあるのに驚いた。改めて北海道の広さを実感したが、小平の鯨番屋を眺め昔日の面影を忍び、苫前の風車群の壮大さに見取れているうちに到着。山本三次郎ガバナー補佐、松橋守会長(羽幌RC)のお出迎えを頂き、羽幌RC役員の皆さんとの楽しい会食にご招待を頂いた。打ち解けた雰囲気、ロータリーの夢を語り合った。そして、久しぶりに和風旅館で疲れを癒した。



8月5日(木) 朝、羽幌町長を表敬訪問。人口1万人弱であるが、天売島、焼尻島の観光に力を入れ、立派な体育館や海鳥センターがあり、多種類のバラが咲き誇るバラ園で目の保養をして会場に入る。羽幌RCは地域経済の影響で業種が少なくなってきた、多業種からの新入会員獲得が難しくなっているが、親睦は密である。小平RCは創立30

周年になるが、途中不幸な出来事があり会員数を大幅に減らした。現在14名で運営しているが、何としてもロータリーの火は消さないようにと全員一丸になって頑張っている。留萌RCは、一時から見ると大幅会員数を減らしたが、昼食を自分たちでセットするなど、なるべく会費を下けている。同好会も7つあり親睦を重視し会員増に努力している。また、100周年委員会を作り、第1グループで少年剣道大会を準備。2年計画で植樹も考えている。韓国からの高校生4名とGSEの受入も進めており活動も活発である。合同例会も楽しく、3クラブの親密度が窺えた。

例会後、次の訪問地滝川へ直行した。予定時間よりだいぶ早く着いてしまったが、すぐに鈴木忠男第2グループガバナー補佐が駆けつけて下さった。16:45から滝川RCの会長・会長エレクト・幹事さんと懇談。106名の会員を維持されて平均年齢も58才と若く在籍10年以上の会員が6割を占めている。今年のクラブのテーマは「和」で、寛容の心と自らを律する心構えでクラブの活性化に向かって努力をしておられる。砂川RCは、筏下りや農業で小学生体験交流会、ゴミ分別啓蒙など環境保全、ポリオ撲滅街頭募金を計画しておられる。両クラブとも活動計画書、活動報告書は立派に出来ており、これまでの会員の役員歴や入・退会者歴、会員数と出席率の関係が示されている。夜間合同例会は、アルコールあり、くじ引きありで大変盛り上がった。楽しい思い出を作っていたいただいた。



8月8日(日) 10:00~16:30、ロータリー財団地域セミナーが高輪プリンスホテルで行われた。南園義一RI理事のご挨拶後、玉村文夫R財団管理委員からは「毎年あなたも100ドル」の意味は大口寄付やポール・ハリス・フェローとは別に会員1人1人が100ドルずつ寄付することで、間違いのないように念を押され、またロータリークレジットカード(特にゴールドカード)が財団に寄与するので、多くの会員の加入をと奨励された。その後のポリオ、恒久基金、世界平和奨学生、(特活)ロータリー日本財団、シェア・システム及び「Every Rotarian, Every Year 100\$」のパネルディスカッションについては遠藤正之地区財団委員長の報告にゆずりたい。私事ではあるが、先月ロータリー財団へ大口寄付をさせて頂いた。今日バッチとクリスタルグラスが日本事務局に届いたとのことで、皆さんの前でお披露目をしていただき、大変面はゆい気持ちであった。東京は大変蒸し暑かった。

8月10日(火) 今年は北海道も久しぶりに暑い夏が続いているが、ここ2~3日は夜が涼しくなり寝苦しさがなくなって来たように思う。今日も鈴木第2グループガバナー補佐のお手伝いを頂き、赤平、芦別RCの合同例会に出席した。会場は赤平交流センター未来で、赤平駅と一緒に立派な建物であった。それに先立つ赤平RCとの懇談では、入会5年未満の会員が34名中5名と少なく、若い会員の維持と会員減少に歯止めを掛ける努力をしておられた。また、ローターアクトクラブへの支援には熱心で、今年度もローターアクト18名はロータリアンと一緒に障害者の支援活動を計画している。芦別RCは昨年度新入会員がなく、54名中5年未満の会員が10名と会員増強には苦慮しておられる。クラブ内に野球部を持ち、甲子園を目指し、またIT同好会を作って親睦活動に熱心に取り組んでいる。地域社会に対しては、「ロータリーの森」の植樹や整備をして環境保全に努めている。今回も夜間例会でアルコールの力も借り、大勢の会員の方々との出会いを楽しむことが出来た。感謝。

公式訪問も丁度半分を終えることが出来た。お盆を過ぎると朝、夕は涼しくなる。元気を出してご縁を求める旅をしたい。

9月は新世代のための月間です



新世代..... 未来を今ここで創ろう!!

新世代委員会

委員長 細川好弘(静岡県)

9月は「新世代のための月間」ですが、前途洋々たる0才から30才代の新世代に未来を託する心からのロータリー奉仕は、年間を通じて理解を求め合う家族としてのプログラムに地区内全クラブが着手されるよう奨励いたします。

2510地区では1996年7月(野口ガバナー年度)種まきの時代・「新世代のためのロータリー会議」を持つことになってから～石垣ガバナー年度は模索の時代・伊藤ガバナー年度は花ひらいた時代、森本ガバナー年度は新世代が認知された時代・遠藤ガバナー時代はライラセミナー復活の記念すべき時代・岩城ガバナー年度は成熟した発展の時代・小林ガバナー年度は移行の難しさを味わった時代、佐藤ガバナー年度は定着した安定飛行の時代と、前奥貫一之委員長は振り返っております。

「未来は遠くにあり、出会うのを待っているというものではありません。未来は今ここでつくられるのを待っているのです。今ロータリアンは奉仕の理想

を来たるべき世代につなぐことによって、よき先達として行動することが出来るのです。」当地区新世代元年とも言うべき1996～7年度ジアイRI会長の言葉が歴代新世代関連委員長を中心に実践され、尽力された功績は2510地区奉仕の財産であります。

9月はライラセミナー(青少年指導者養成)が実施されます。ライラ委員会、インターアクト委員会、ローターアクト委員会、青少年交換委員会ははじめ家庭奉仕、子ども奉仕、財団学友、米山学友等関連委員会の呼び掛けに快く応えて下さい。

地区ガバナー補佐、全クラブ会長のご理解とご助言を賜りながら、地区新世代奉仕を楽しみロータリーを祝いませんか。よろしく願いいたします。

ライラセミナーのご案内

皆様に於かれましては益々、各地域での奉仕活動に精励されていることと存じ、お慶び申し上げます。

毎年9月の新世代に実施して参りましたライラセミナーを開催したくご案内申し上げます。今年度のテーマは「人権について考える」としました。観念的な部分もありますが、現実問題として身近な社会の様々なところで人権に関する問題は発生しています。中には問題として取り上げなければ無意識の内に過ごしてしまう事柄もあり、この機会に考えてみたいと思います。

プログラム (概略)

シニアクラス (18歳～30歳)

日 時	2004年9月11日(土)～12日(日)
	9/11 14:30 集合
	9/12 13:30 解散
場 所	JR研修センター 札幌市東区北5条東10丁目
参 加 者	ローターアクト、財団奨学生、財団学友、米山奨学金、米山学友、20歳以上の交換留学生、ROTEX、一般、ロータリアン
登 録 費	2,000円(新世代) 3,000円(ロータリアン)
宿 泊 費	3,000円(新世代) 4,000円(ロータリアン)
プログラム	9/11
	14:30 受付
	15:00 インフォメーション
	15:15 点鐘、挨拶
	15:30 講演
	17:00 質疑、応答
	17:30 コメント
	18:00 移動
	18:30 夕食懇親会
	9/12
	9:00 インフォメーション
	9:10 点鐘、挨拶
	9:20 意見発表
	10:30 休憩
	10:45 グループ・ディスカッション
	12:00 グループ発表
	12:30 食事
	13:15 点鐘、講評、謝辞、アワード授与
	13:30 記念撮影、解散

ジュニアクラス (14歳～18歳 = 高校生)

日 時	2004年9月18日(土)～19日(日)
	9/18 13:30 集合
	9/19 13:00 解散
場 所	NTTセミナーセンター 札幌市中央区南21条西7丁目
参 加 者	インターアクト、18歳以下交換留学生、一般高校生、インターアクト顧問教師、ロータリアン
登 録 費	2,000円(新世代) 3,000円(ロータリアン)
宿 泊 費	3,000円(新世代) 4,000円(ロータリアン)
プログラム	9/18
	14:00 インフォメーション
	14:10 挨拶
	14:20 出席者紹介
	14:30 エンカウンター、交流ゲーム
	16:30 休憩
	16:40 交流プログラム
	18:00 夕食
	19:00 フリータイム
	20:30 軽スポーツ、レクリエーション
	22:00 就寝
	9/19
	8:00 朝食
	9:00 点鐘、挨拶
	9:15 お話し
	10:15 ベトナムワーク
	10:45 グループ発表
	11:30 点鐘、講評、挨拶、謝辞、アワード授与、記念撮影
	12:00 昼食、解散



昨年度報告(ガバナー月信11月号)より

地区委員会

活動報告

2004 - 5年度交換学生歓送迎会 & 2005 - 6年度長期派遣候補生面接



青少年交換委員会

委員長 野澤 幸平(岩内)

1年の締めくくりともいえる、派遣、受入学生の歓送迎会が7月10日新札幌のアーキシティーホテルにて約60名の参加で開催された。遠藤ガバナーより暖かいねぎらいのお言葉を頂き、1年間の思いと決意を語った。



アメリカ5100地区【伊藤克己委員長】に帰国するケイ、グリーンとお世話になった、札幌東ロータリークラブの松宮国際奉仕委員長、ホストファミリー、塚原房樹ガバナーエレクト、同地区に派遣の森本真奈さんご両親。

このたびの帰国組は、計5名でカナダへ帰国したキャシー、ブコブスキーは函館五稜郭RCにお世話になり、遺愛女子高でバレーボールクラブに所属し双子の妹キャロリーナも来日し最後の日本を満喫していた。(余市RC受入れのクリスティーナ、派遣の川村奈津美



と。カナダの父に見せる為のすすきのの写真を撮っているところ。)すすきのはどうやら世界的に有名ようだ。カナダへ帰国後はカルガリーの大学へ進学する予定だが、帰りたくない、日本の大学へ通いたいと話していた。

上磯RC受入れでメキシコのリンダ、ゴメスは初めてのスキーを楽しみ、ホストファミリーのおいしい食事に12キロ増加!! 明るい笑顔で皆を楽しませ、新留学生の心のケアもしてくれる優しい心の持ち主であった。まったく話せなかった日本語の上達も早かった。又、函館東RC受入れのカリフォルニアのステイブン、ウオルフはホームページを駆使し、日本の文化を世界に発信した。



馬場地区委員
リンダ、ブンチャン



高崎地区委員
エバンと仲良く!



帰国生、派遣生、受入生
世界のためにガンバロー!

アメリカニューヨーク州からのエバン・トーマスはとにかくにぎやか、ムードメーカーであった。日本の男の子は総じてシャイ、エバンを見習っても良いかも。「じゃね。」と、空港から去ったそうである。すっかり、日本人！札幌東RCの皆様、お世話になりました。多くの皆様の善意と奉仕の精神で皆幸せいっぱいの笑顔での日本と日本人が大好きになって帰って行きました。心より感謝申し上げます。

派遣生たちも、フィンランドの野村菜由さん（江別RC）を始め、全員が元気に出発した。1年後の帰国が楽しみだ。

7月25日（日）野澤委員長の札幌のオフィスを会場（奉仕の精神で提供）として、7名の学生が2005 6年



度の長期派遣の面接試験を受けた。スピーチ、英語のヒアリング、個別面談でヒアリング以外は保護者、クラブ関係者の皆様にも聞いていただき、のびのびとした雰意気のなか、行われた。個別面談では、一人一人の考えや性格をうまく引き出すよう、各委員が時間をかけて行っていた。それぞれの個性ある回答に、「素

晴らしい子供たちばかりだ。」と、各委員は感動していた。推薦者の皆様ありがとうございます。後日発表。

青少年交換委員会トピックスコーナー 余市RC

第6グループ、久々の留学生受入れで多いに盛り上がる！余市RCでは、約20年ぶりに短期ではあるが、交換留学生を受け入れ、新聞に掲載されたり町長に表敬訪問したり街をあげての歓迎となった。次は長期に挑戦！！



2004～2005国際ロータリー第2510地区 インターアクト研修旅行報告



インターアクト委員会
委員長 堀田昌資(札幌東)

RI 2510地区インターアクト委員会では年間5つ程の主要な行事を行っていますが、その中で年度が一番初めに来るのがこの研修旅行です。今年は8月2～6日(4泊5日)の日程で韓国の木浦、ソウルへ行きました。主要な目的は木浦にある子供の施設「共生園」での園生との交流と木浦、ソウルにある韓国の歴史遺産などの見学です。参加者はインターアクト9校から生徒17名(男子5、女子12名)と各校の引率教師9名、インターアクト地区委員2名添乗員1名の29名です。



「木浦(モッポ)共生園」前で(最後列左端は共生園の創始者尹致浩氏の胸像)

8月2日(月)14:25新千歳空港を離陸して16:53仁川空港着。バスで高速道路を南下して午前0:00木浦の「新安ビーチホテル」着。3日(火)は10:10～木浦市内のユダルサン公園、ノジョンボン記念碑、朴花城文芸館、木浦魚市場などを見学して16:10「共生園」着。木浦共生園は1928年に尹致浩氏が設立し氏が韓国動乱で行方不明となった後は氏の妻田内千鶴子(高知県出身)女史があらゆる困難を乗り越えて孤児達を育て続け今日に至っております。園では鄭愛羅園長の歓迎挨拶、堀田昌資団長の訪問挨拶、インタ

ーアクト代表平井聖奈、濱野ひとみさん(いずれも札幌第一高校)の韓国語での挨拶、田内緑名誉園長による園の歴史の説明がありました。その後園の子供達とインターアクトメンバーが浜辺へ行って語らうなどの交流を行った後食堂で夕食会、韓国伝統楽器の演奏、幼児のダンス、インターアクトメンバーの歌の交歓を行いました。



歓迎の言葉を話される共生園 訪問のあいさつをしている園長の 訪問の言葉を述べているインターアクト代表の
園長 鄭愛羅さん 堀田昌資インターアクト委員長 濱野ひとみさん(右)と平井聖奈さん(左)札幌第一高校

4日(水)は木浦からソウルへ移動してソウル市内の西大門歴史資料博物館、東大門市場などを見学して夕食は韓定食その後民族舞踊を楽しみました。5日(木)は午前中ソウル市内の景福宮、国立民族博物館、南大門市場などを見学して午後は皆それぞれ日本へのお土産を買うためLOTTEデパートで買い物。

6日(金)6:30にホリディ・イン・ソウルを発って仁川空港へ。10:10に離陸して12:45新千歳空港着。皆自分の国へ帰ってきたという安堵感でほっとした笑みがこぼれて出迎いの家族と韓国での出来事などを話しながら帰宅の途に着きました。

今回の研修旅行にあたり色々お世話いただきましたRI 2510地区役員、各RC関係者、各高校の教師の皆様へ厚くお礼申し上げます。



韓国伝統の民族楽器を演奏して下さった園生とその友人、中央の女兒はヴォーカル左から2番目は指導の先生(近所の方)

ロータリー財団地域セミナー報告

ロータリー財団地域セミナーに参加して



ロータリー財団委員会
委員長 遠藤正之(札幌南 PG)

本年度のロータリー財団地域セミナーは、去る8月8日(日)東京高輪プリンスホテルで、田中作次、南園義一両RI理事、ジョン・スティルマンロータリー財団(TRF)企画管理部長、玉村文夫TRF管理委員の他、国内の地区ガバナー、財団委員、財団に関与する地区役員約250名が参加して行われました。

最初に、南園理事がロータリーにとって財団の力は極めて大きく、その基盤をより高める時が来ており、人道的プログラムと教育的プログラムの配分割合が再検討されることが必要で、皆様の意識の高まりが大切と挨拶された。次いで、玉村TRF管理委員が現在の財団資金について触れ、本年度の運用益が昨年の10倍近く出ているので、スティルマンRI会長エレクトは3Hプログラムの復活も考えているとの報告があった。その後、「Every Rotarian, Every Year 100\$ - 毎年あなたも100ドル」について、会員と役員との間に理解の解離がないように説明をして欲しいとの進言をいただいた。又、ロータリーカード(オリコカード)の普及については、カード担当委員を設けてその普及に努めて欲しいとの要望があった(会員が1万人に達するとカード使用額の0.3%が財団に自動的に寄付される)。

次いで、西村二郎ポリオ撲滅募金キャンペーン委員から活動の進行状況の報告があった。1985年にポリオ・プラス・プログラムが設けられ、12,000万ドルを集めるという声明を発表、5年間毎年1億人の新生児にワクチンを投与する計画でスタート。2年以内で24,700万ドルが集まり1988年で終了したが、日本は募金目標が40億円と巨額であり、5年間で49億円を集め1991年に終了した。1995年規定審議会で2000年

までにポリオを一掃し、2005年までにポリオの撲滅を証明することが採択された。そのためには国連(WHO, UNICEF)では4億ドルが必要とのことで、RIが8,000万ドルを受け持ち、2002年4月から募金キャンペーンがスタート。日本では誓約で3年間に1,600万ドルを目標とした。2年間で10,580,249.45ドルが集まっている。その成果はポリオ発生圏が125カ国から6カ国に減少、症例数は99%以上に減少している。あと一息のところまで来ている。

恒久基金については、渡辺好政副委員長から明日へのプログラムを安定したものにするために重要な基金であり、寄付の元金は決して使われず、投資して得た収益を財団プログラムの支援に使っている。2004年4月30日現在、恒久基金の累計額は13,590万ドル、予測額(収益や誓約)は26,710万ドルで総額40,300万ドルとなる。2005年までに5億ドルと設定しているとの説明があった。

午前中の最後に世界平和奨学生とロータリー・センターについて田中作次連絡理事、岩井敏ホスト・エリア・リエイゾン、中村孝第2750地区直前委員長から説明があった。世界平和奨学生は紛争の解決と平和における国際問題研究を目的として、世界を枠とする競争制によって世界から70名が選ばれるが、辞退者がいて実際は70名に達したことはない。この奨学金のための資金は世界的規模で調達する必要があり、金額を問わずDDFを配分するよう全地区にお願いしている。2004年規定審議会で、開発途上国から奨学生を選ぶことを要請する決議が採択されたが、これまでの3期生のうち約1/3がそれらの国から選ばれている。この奨学生は7校あるロータリーセンターのいずれか1校に留学するが、3年間で日本から選ばれた奨学生は8名で、日本の国際基督教大学に受け入れたのは23名である。ホストエリアは大学周辺の6地区で支えている。各地区から出るカウンセラーが重要な役割を果たしている。明年から奨学生の募集期限が10月から7月に変更になる等であった。

特別非営利活動法人ロータリー日本財団について、岩井敏理事長から2003年4月に登記したが、日本で

集めた寄付金を本部に全額送金することについて、本部の疑念を払拭することに思わぬ時間がかかったが、ようやく2004年7月より実質的に発足することになった。当面の間、30万円以上の教育目的寄付は、引き続き独立行政法人国際交流基金の特定寄付金を申し込み、10～30万円をロータリー日本財団の扱い、10万円未満は日本事務局の扱いとする。すべての寄付が税制上の優遇措置を受けられるのにはもうしばらく時間が必要との説明があった。

シェア・システムについては、TRFジョン・スタイルマン氏の説明が通訳つきで行われ、シェア・システムの変更、人道的プログラムに力を入れて欲しいとの説明がされた。この項については、伏木補助金委員長が触れると思うので省略する。

最後に「ロータリー財団プログラムとプログラムを支えるEvery Rotarian, Every Year 100\$」について、宮崎茂和パスト・ガバナーの司会で、上野 孝、片岡信彦、片岡瑛子氏の3人のパネラーで行われ、財団プログラムが如何に大切であるかが説明され、地区ガバナーと地区財団委員長との関係と、その責務についての説明があった。又、ポール・ハリス・フェローの寄付について、準フェローというのがあったが、これが「財団の友」という名称に変わり、財団の友についての説明が行われた。

その後、質疑応答があり、熱いセミナーは午後4時30分に終了した。

ロータリー財団セミナーに出席して



補助金委員会

委員長 伏木 忠了(札幌西)

ロータリーは今年100年の節目を迎えました。

ロータリー財団に対する理解も進んでいますが、人道的プログラムにも力を入れることにより、更に財団への寄付を増やすことを目的としたセミナーでした。

地球は一つ、世界中の貧困や飢餓が減らない限り、真の平和はあり得ない。

そのための奉仕活動には資金が必要です。奉仕活動と資金集めは車の両輪です。

今年の規定審議会04-157には

Every Rotarian, Every Year 100\$=毎年あなたも100ドルをと採択されました。

(大口寄付やポール・ハリス・フェロー等の寄付は別にして各人が年100ドル=月1000円)

ロータリー財団への寄付の内、

50%がDDF (District Designated Fund) = 地区財団活動資金、

残りの50%がW.F (World Fund) = 国際財団活動資金

に振り分けられ、3年後に使える制度になっています。

寄付するだけでなく、皆さんもこの制度を利用して奉仕活動に取り組んでいただければ幸いです。

2006～2007年度

ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 遠藤 秀雄

地区ガバナー指名委員長 遠藤 正之

2006～2007年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、10月3日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもってご推薦ください。

尚、地区ガバナー・ノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～6項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

参考

・国際ロータリー細則第13条(ガバナーの指名と選挙)

・国際ロータリー-第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定(1998～1999年度地区年次大会決議第9号)



2004
2005



2004～2005年度
国際ロータリー第2510地区

地区大会

ごあいさつ



2004～2005年度
国際ロータリー第2510地区
ガバナー

遠藤 秀雄

地区大会にあたり一言ご挨拶申し上げます。
本年度のグレン E・エステス・シニアRI会長はCelebrate Rotary「ロータリーを祝おう」をテーマに選びました。最初のロータリー例会が開かれてから丁度100周年を記念して、これまでの輝かしい歴史をふまえ、希望のある次世代へ挑戦するためのテーマであります。

この記念すべき年度の地区大会を担当することになり、その重責をひしひしと感じております。地方の小都市ではありますが、地区大会の目的に向かって成果を上げるべく関係者一同準備しております。

記念フォーラムは、100周年にあたりロータリー財団の学友を中心にその過去・現在から未来についての展望を試みることになりました。活発なご討論を期待しております。また記念講演はロータリアンでもある松島トモ子様に100周年の感慨を込めてお話をいただきます。

この100周年の節目にロータリアンとして奉仕できる幸運をかみしめロータリーを祝おうではありませんか。

多くの会員のご参加を心よりお待ちしております。



2004～2005年度
国際ロータリー第2510地区
地区大会実行委員長

戸塚 守夫

● PROGRAM プログラム

第1日目 10月16日(土)

会長幹事会

祝いの宿 登別グランドホテル
9:30 登録開始
10:30 点鐘・開会の挨拶
11:20 閉会

本会議1日目

祝いの宿 登別グランドホテル
11:30 登録開始
12:30 点鐘・開会の挨拶
12:50 大会運営委員会報告
13:10 大会決議案上程・採択
13:20 各委員会活動報告
14:45 記念フォーラム
16:30 点鐘・終了

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

祝いの宿 登別グランドホテル
18:00 ウェルカムドリンク
18:15 着席・開演
19:45 閉会

第2日目 10月17日(日)

本会議2日目

日本工学院北海道専門学校
8:30 登録開始
9:00 点鐘・開会
ガバナー挨拶
RI会長代理ご夫妻と来賓紹介
9:15 RI会長代理挨拶
9:50 参加者紹介
10:40 表彰
11:10 記念講演会
12:15 RI会長代理所感
12:30 点鐘・終了

記念懇親会

第一滝本館

13:30 開会
15:00 閉会

記念フォーラム 「私たちの異文化体験と国際親善」

10月16日(土)14:45~

●基調報告 R財団学友

●R財団学友によるフォーラム

元財団国際親善奨学生・元GSEチームメンバー

●第3350地区(タイ・バンコク地区)
GSEチーム紹介と報告

記念囲碁大会 10月11日(月)
受付/11:00

会場/日本棋院北海道本部囲碁会館
(アスティ45 7F)

記念ゴルフ大会 10月15日(金)
受付/8:00

会場/登別カントリー倶楽部

※パネラー・コーディネーターは都合により変更となる場合があります。

記念講演 「多くの人たちとの出会いのなかで」

松島トモ子氏

10月17日(日)11:10~



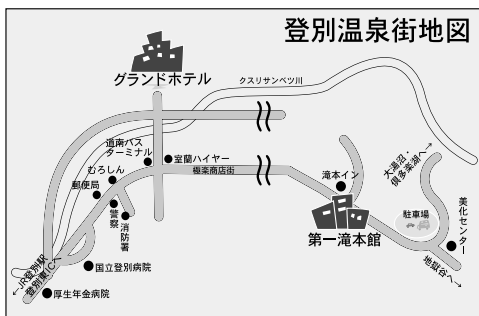
松島トモ子氏

略歴

1945年旧満州(現中国東北部)生まれ
母に抱かれて日本に引き揚げ、3歳からバレエを学びそれがきっかけとなり1950年映画「獅子の罌」
でデビュー。
以後「鞍馬天狗」「丹下左膳」などで子役として80本以上の映画に主演。
雑誌「少女」の表紙を10年間一人で務める。日本コロムビアより童謡、ポピュラー等のレコードも出し、
歌謡曲の歌手としても活躍。
1964年、ニューヨークのザ・マスタースクールに留学。その留学日記「ニューヨークひとりぼっち」がベ
ストセラーになる。現在テレビ、舞台、講演などで活躍中。

書籍

- 「ニューヨークひとりぼっち」 / 集英社
- 「ともだちの詩」 / ルックス社
- 「母と娘の旅路」 / 文藝春秋
- 「車いすでシャル・ウィ・ダンス」 / 海竜社
- 「ホームレスさんこんにちは」 / めろくぼる



登録料

会員	13,000 円
家族	10,000 円
新世代 (学友等を含む)	5,000 円
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会	10,000 円
ゴルフ	5,000 円
プレー代	8,240 円
囲碁	4,500 円

2004~2005年度
国際ロータリー 第2510地区

地区大会 事務局

e-mail keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp

〒059-0034
北海道登別市鷺別町2-31-1
医療法人社団 友愛会 恵愛病院2F
TEL(0143)82-2510
FAX(0143)82-2512

ホストクラブ 登別ロータリークラブ



2005年～2006年度RI2510地区 第13回GSE派遣団員募集

GSE (Group Study Exchange) の目的

ロータリー財団の研究グループ交換 (GSE) プログラムは、地区内の若い職業人を海外に派遣し、そこでの生活体験を通じて職業、文化、親善など様々な分野の国際理解を促すとともに、得られた異文化体験を広く地域社会に還元できるよう支援するものです。

- 募集人員** 4名 ・2006年3月(予定)の出発時年齢が満25歳以上40歳未満であること。
・性別、学歴、職歴は問いません。
- 費用** 渡航費と滞在費はロータリー財団が負担します。
- 派遣先と派遣期間** 期間：2006年3月(予定)の4週間(28日間)
派遣先：RI3350地区
・タイ バンコクを中心とした地域
- 団員募集要項**
1. 所属団体や職場の了解を得られる人。
 2. 英会話に堪能である事は必ずしも必要としませんが、英語の基礎的な理解力を持ち、英語学習や異文化体験に意欲的な人。
 3. アジアの国々に興味のある人。
- 募集方法** RI2510地区ガバナー事務所、GSE委員会、又は各ロータリークラブに備えてある申込書に所定の事項を記入の上、必ず推薦クラブを経由して、地区GSE委員長宛(下記)に提出して下さい。
- 応募締め切り日** 2004年10月末日必着
- 選考と決定** 2004年11月中旬に面接と選考試験を行い、12月初旬までに決定します。
- その他** 応募に関する御不明な点は、地区GSE委員会、又はGSE委員長にお問い合わせ下さい。

応募書類の提出先 (郵送) 〒063-0830
札幌市西区発寒10条2丁目10-21
(株)アートクリエイト内
RI2510地区 GSE委員長
山名 善久
TEL : 011-662-5334
FAX : 011-662-5325

GSEプログラムの概要、活動内容につきましては、
GSEのホームページをご覧ください。

ホームページアドレス
<http://www.ri2510.gr.jp/GSE/framepage.html>

又、お問い合わせや御不明の点等ございましたら、
下記までお問い合わせ下さい。

E-mailアドレス gse@ri2510.gr.jp

第3350地区(タイ) GSEチームメンバー紹介

受入期間：2004年10月4日～31日



GSE委員会
委員長 山名善久(札幌幌南)



リーダー
氏名：Mr. Somboon Bunyasiri
所属：Bangkok Klongtoey RC
職業：Yellow Ribbon Hills-Executive Mansion (不動産賃貸会社) 社長
誕生日：1942年4月4日 62歳
身長/体重：178cm/77kg
宗教：仏教、ビーフは食べない
言語：タイ語、英語、日本語(多少)

メンバー

氏名 1. スポンサーRC 2. 年齢 婚姻 3. 学歴 4. 現職
5. 趣味 6. モットー 7. 関心事 8. GSEへの意見



Dr. Parichat Tirawat
1. Praramasuan Lopburi RC
2. 34歳, 未婚
3. 90-95年タイのプリンス・オブ・ソングクラ大学医学部卒業, 99-01年タイのマヒドル大学麻酔学部卒業
4. 麻酔学部麻酔学主任

5. 料理、エアロビクス、ジョギング 6. 正直である事
7. 病院での苦痛管理, 小児科麻酔, 日本の生活様式と文化の勉強
8. 私の仕事での経験を生かして、他人にも分け与えたい。



Ms. Sunun Trongtorsak
1. Lumpinee RC
2. 34歳, 未婚
3. 93年にスリナックハリンウイロット大学で教育学士授与、現在ラムクハムハンク大学で経済学修士取得のため勉学中
4. シーミコ証券会社PCLで副支配人

5. 読書、料理、ラジオを聴くこと
6. 正直、勤勉、忍耐&親善
7. 私の仕事：金融市場、日本での株式市場及び銀行業務
教育：東京大学、北海道大学、博物館、科学公園 地方訪問：京都の寺院、大阪、鎌倉、奈良、神戸、ディズニーランド、ディズニーシー 日本の文化：茶道、生け花、ラッピング、食べ物、着物の着付け
8. 知識と経験を持ち帰って、私の仕事と更に私の国のために改善致します。そして、ロータリーの世界的な使命を増進する研究チームの教育的な経験を分かち合います。



Ms. Nongkran Wongsr

1. Bang Rak RC
2. 40歳, 未婚
3. 84-87年図書館学士をタイのスリナクハリンウイロット大学で授与、89-92年成人教育学修士を同上大学から授与、01-04年教育心理学博士をオーストラリアの

ニューキャッスル大学から授与
4. 聖路加大学心理学講師
5. 読書、ジャーナル、研究レポート、インターネット及び電子ジャーナルから学問的な情報収集、同僚及び他人とてアイデア、知識及び経験を分かち合う、日々の運動のために徒歩及びフィットボールエアロビクス
6. 自分自身のため、職場のため、社会のため、そして国のために最善の努力をする事
7. 国内及び海外でのクラスを自己流の学習スタイルで講義する事。自己流の学習を異文化比較の分野で研究する事
8. GSEは現在の職業人に文化的職業的交換の機会を提供してくれる素晴らしい交換プログラムであります。



Ms. Wedarat Navicha

1. Suan Luang RC
2. 29歳, 未婚
3. 97年にチアングマイ大学で教育学士授与、現在ラムクハムハンク大学で人的資源開発分野教育学修士の勉学中
4. 英語-日本語教員及び学生奉仕のリーダー

及びテプリーラ高校で相互交流プログラムのコーディネーター
5. 旅行、水泳、読書及び絵を描く事
6. 正直、勤勉、奉仕の心を持った友情的な人間
7. 相互交流プログラムのため：日本の高校で相互交流プログラムについてもっと勉強する事 私の学校のため：日本のクラスの授業方法を実際の目で見る事及び外国人に關した日本の授業方法を研究する事。私の学校の学生と北海道の学生との交換プログラムを作る事
8. 私の学校で日本語のクラスと相互交流プログラムをはっきりと改善して開発するために知識と経験を持ち帰ります。そして私はタイと日本の人々の間の良きコーディネーターになれると信じております。

訳：武藤 順 委員(札幌西)

ご覧の通りチームメンバーは全員女性であります。チームリーダーを含めて全員喫煙はしないそうです。来日の飛行機のスケジュールは問い合わせ中であります。取りあえず4名のメンバーが決まってほっとしております。どうぞ今後とも宜しく願い申し上げます。

2004年規定審議会レポート



2004年規定審議会
代議員 石垣博美 (札幌セントラルPG)

〔1〕地獄の5日間

去る6月12日(土)から同20日(日)まで、シカゴの「規定審議会」に行き参りました。13日夜、全員参加のオリエンテーションがあり、14日から18日までの5日間、朝8時から夕方6時まで1日10時間(ランチタイム1時間、コーヒープレイク午前・午後各30分)の会議が続いた。全世界136ヶ国にまたがる地区の代表者、529人の投票権を有する審議会議員が集っている。しかし、このほかRI理事、財団管理委員、RIパスト会長、RI事務局職員など、投票権を持たない者も一堂に会している。さらに代表議員のスパウスが傍聴席に座っている。

「地獄」のような50時間であった。冷気が頭上からおちてくるマリOTTホテルの会議場には、その上、英語ばかりでなく、フランス、スペイン、ポルトガル、韓国、日本、そしてエスペラントなど多数言語が飛び交っている。まことに「マン・カインド(人類愛)」を高唱せんとするロータリアンにとっては、シリアスなビジネスだ。ロータリーの必死の姿の一面を見る思いがつのる。とくに「多言語空間」に慣れていない日本人には物心両面で苛酷なテストとなる。そうした国際舞台で私ども日本の代表団は悪戦苦闘した。そして、大奮闘をして大成果をあげた。



〔2〕制定案

すでにインターネットなどで審議結果はご承知の向きも多いと思う。そこで、ここでは2004年規定審議会において日本に関係の深い主な採決制定案及び決議案について述べる。



- (1) 半期人頭分担金を2004-05年度\$ 19.50, 2005-06年度\$ 21.50, 2006-07年度\$ 23.50に増額する
- (2) MU(メイクアップ)規定の中に、「クラブのウェブサイトを通して、30分間の相互参加活動を行った場合」を追加する。E-クラブのホームページに30分参加すればMUとみなす。
- (3) MU(メイクアップ)規定の中に、「ロータリー親睦活動の例会に出席した場合」を追加する。正式にRIから承認された「歴史と伝統の会」、「ロータリー囲碁同好会」、「アマチュア無線」等の会合に参加した場合、MUと認められる。
- (4) 現行5年のニューモデルクラブによる試験的プロジェクトを6年に延長する。
- (5) 地区が30クラブ、1000名未満の場合、RI理事会は地区境界の変更や合併を行うことができる。
- (6) RI理事会の承認なしに、地区の境界外で地区大会を行うことができる。
- (7) RIの長期計画の詳細が決定。
- (8) 事務総長を報酬を受ける唯一の役員とする。(RI会長, RI会長エレクト, RI会長ノミニーに対する謝礼は禁止。)
- (9) 会長、会長エレクト、会長ノミニー、並びに会長室に弁済された全ての経費を公開する。
- (10) 規定審議会に提出するクラブ提出の立法案は地区の承認が必要となる。
- (11) 財団管理委員長および次期委員長に弁済されたすべての経費を公開する。
- (12) ガバナー・ノミニーの資格条件中、創立会長に限り6ヶ月以上就任とする(その他の会長は全期間就任とする)。

〔3〕決議案

上の制定案は、2004年7月1日から発効する。が、決議案は、R I理事会に対し善処方を要請するものが殆どである。したがって、採択された決議案を実行に移すかどうかはR I理事会の裁量に委ねられているので直ちに実施されるとは限らない。主な採択案は以下の通り。

- (1) スポンサークラブとして拡大をする場合、現在最低会員数25名必要だが、これを20名に変更する。
- (2) クラブ奉仕部門に沿革史 / 資料保存委員会を設置する。
- (3) 新クラブの結成の際、1つの職業分類につき2名の会員を認める。
- (4) 被災地からのガバナーから救援要請があった場合のみ、救援が可能となる。
- (5) 高所得国は低所得国の候補者に国際親善奨学金を寄贈する。
- (6) 開発途上国から奨学生に国際平和奨学金を優先的に与える。
- (7) エイズ孤児ケアのための孤児院建設費用にマッチンググラントが使用できるようにする。
- (8) ウェブ上での財団の決済を可能にする。
- (9) 2005年までに一人100ドルを達成するために「毎年、すべてのロータリアンが」のスローガンを正式に支持する。
- (10) 最低40クラブあれば地区を形成できる。
- (11) 地区番号に地理的表示を付記する。(例：2510北海道西)
- (12) 地区大会に会長代理の出席が必要か否かを地区が決める。
- (13) 地区大会の要項を改正して、1～4日、6時間とする。
- (14) 2004年にゾーンの再編成を実施する。
- (15) 中国語をR I公式言語とする。
- (16) 修正案によって、He profits most who serves best が They profit most who serve best に変更された。また、第2 motto を廃止しようという提案が否決にされた。また、ロータリーにとって歴史的に重要な声明や文書は原文のまま保存することが認められた。
- (17) すべての標記はROTARY INTERNATIONAL と大文字を使う。
- (18) 2005年2月23日には、R I 代表団が平和メッセージを携えて各国元首を訪問する。
- (19) 国際大会を見直して登録料を安くする。
- (20) テレビを使って規定審議会を開催する可能性を検討する。

以上は規定審議会のレポートの抜粋である。世界のおよそ140ヶ国や地区から約800点の提案があった。欠陥のあるもの凡そ200点を削りおとし、残り600点について審議された。そのうち100有余の取り下げがあり、凡そ500の提案につき投票の結果、制定49件、審議案51件が採択された。提案の8割強のものが否決された。

〔4〕シカゴ心景

(1) 存在感

以下は私見を交えて雰囲気をお伝えしたい。シカゴの今は、美しい。ウォーター・パワー・ハウスの展望階から見渡すミシガン湖のたたずまいも、100年前の青年ポール・ハリスの目に映じた光景を想像すると、ただごとでない壮麗さに輝いていた。

規定審議会は、ロータリー世界のオリンピックである。今回の日本代表団は、ひるむことなく日本語と英語で活躍をして、日本のロータリアンの存在感を世界に示した。こんなに頑張ったことはなかったらしいと言われる。田中毅(芦屋川)黒田正宏(八戸南)ご二人(いずれもPG)のご指導によるところが大きい。例えば、あの第2 motto の存廃の件である。イギリス、アメリカ、豪州の人たちに、あれは廃止すべきだとの声が強い。確かに経済学の教科書から見ると、あのF・A・シエリダンの格言は理解不能である。しかしながら、日本のロータリアンはあれが好きだ。あれがないと日本のロータリーは成り立たない。そこで、みんな頑張って支持のスピーチをやった。結果は大差で私どもの主張が通った。世界のロータリー会議で、日本人の外交力、説得力、そしてゲーム感覚のレトリックも素晴らしいと思った。元R I会長の中にも親日派がいる。例えば、ピーター・ドラッカーといえは経済界の神様の存在だが、大の親日家で、そのドラッカーのような親日派がいるのだ。が、そればかりではない。傍聴席にいた私のアメリカの友人の奥さんが、私の下手くそなサポート・スピーチのあと「あなたの言うことはよくわかるわ」と囁いてくれたことに私はひどく感動した。彼女は「After all, ROTARY is not money」と言ってくれた。

(2) 危機感

第2の世紀を迎えるロータリーの行方はいつにかかってこの規定審議会の在り方にかかってくると思われる。ロータリーを小さな「共和国」に例えるなら、その国の立法院だ。2004年の審議会で特徴的な現象は、採択された提案の多くが「規約緩和」の方向に大きく傾いていることであった。どうもロータリー改革の方向が、ロータリーの厳しさの量的緩和に





向かって無原則的に走っているのではないかと危惧される。例えば 地区大会のプログラム中、ロータリー関係の時間限定を9時間から6時間にする。パイロット・クラブの実施期間を5年から6年にする。新クラブの職業分類項目の1人を2人にする。新クラブ最低会員数を25名から20名とする。サイバー・クラブの扱い方などが、それだ。特に地区大会にRI会長の特別代表を呼ぶかどうかは地区が決める、などはRI会長の存在をないがしろにするものではないか。今後はこの傾向が続くとすれば由々しい一大事である。

(3) 期待感

しかしながら、この規定審議会という制度があればこそ、ロータリーが生き延びてきたと見ることもできる。この3年間に1度の儀式を「金輪物語」(D.ニコル,1985)は、この会議は世界中のロータリアンがそれぞれの国や地域を代表して、相互理解、交流友情を深める最良のプログラムと評している。とすれば、この趣意を生かし、建設的な提案のみを十分に討論できるような空間を用意すべきと思われる。国連組織の運

営実践を参考にしながらより効率的な、そして民主的な審議会の在り方を我々は提案すべきではないだろうか。

さらに、日本の立場を主張する発信力を高めることが大切だと思う(この6月で任期を終えた菅生元理事は、この発信力を強調した)。今回の審議会に出場する機会を与えられ、私はロータリーという組織の正体成功の秘密を垣間見たように感じた。文学的にいえば、谷崎潤一郎「小さな世界」(1917)、菊地寛「入れ札」(1919)(別稿参照)に例えられるような世界である。

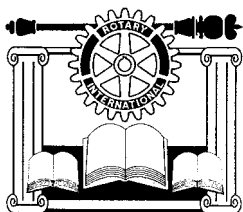
これだけでは説明不足であるが、大正デモクラシーの時代の上述の文学者たちは驚くべきことに、早くもギリシア、ローマ時代の「民主主義の政治」の日本化を説いているのである。

この会議に出席してみて、日本のロータリーが「NO」と発信すべき場面や提案は山ほどあるのではないかと思った。すぐに思いつく提案のうち2つあげてみよう。第1は、代表者の日本人は34名、日本のロータリアンは11万人余、世界中の総数は約130万人だとすると、およそ10%だ。したがって、代表者は10%に見合う50名は会場にいて良い勘定だ。一人当たりの代表者格差の問題である。日本の地区人口の平均は3,300人、世界平均は2,200人という(田中毅P.G調べによる)。もう一つ。地政学的に言って、北海道ゾーンにサハリン、カムチャッカ、千島列島を入れるべきであろう。これらの地域は自然地理学的にも同一性に富む(ブラツキストンを考えて欲しい)。自然地理的な一致の原理にもかなうデマケーション(地区領域の限定)と思われる。

結びとして一言。世界のロータリアンの中で日本のその果たすべき役割は大きい。われわれは、日本が世界のモデルロータリー国になることを願わざるを得ない。

重要

各クラブに国際ロータリー2004年規定審議会決議報告書が送付されています。



規定審議会

本報告書の末尾に「立法案反対表明書式」が収められています。RI 8.140.3項に準拠し、クラブは採択制定案または採択決議案のいずれに対しても、本書式を用いて反対を表明することができます。漏れなく記入した書式は、2004年10月18日までにエバンストンの世界本部に到着しなければなりません。もしその時点までに、投票権のある全クラブの10パーセントもしくはそれ以上の数のクラブが、審議会が採択した立法案のいずれかに反対の表明をした場合、この立法案は「一時保留」とみなされます。投票用紙が用意され、一時保留から1カ月以内に各クラブに配布されます。投票は、一時保留とされた立法案について審議会決定の賛否の問題を提起するものとします。投票はRI細則8.140.5、8.140.6、8.140.7の各規定

に則って実施されます。投票の結果に基づき、一時保留の立法案は無効となるかまたは復権するかが決まります。

各クラブは審議会の決議のいずれかに反対する場合にのみ、本報告書の巻末の書式に記入し、返送くださるようお願いいたします。クラブが2004年規定審議会の決議に反対しない場合には、何も提出される必要はありません。

尚、近日中にガバナー事務所より、上記詳細のご案内をお送りする予定です。

ロータリー
文庫通信
(203号)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演から

- | | |
|---|---|
| 「出来ることからボランティア」 福岡政行 2004 13p
(D.2760) | 「わがくに國の三大隣国 - 米・中・露 - について考える」
古川 清 2004 13p |
| 「スポーツが地球を救う！～21世紀のスポーツの役割」
水野正人 2004 8p (D.2620) | 「地球環境と経営調和 - 1秒でこんなに変化する世界の中で - 」
山本良一 2004 12p (D.2560) |
| 「何のために事業をするのか - 人に愛を - 」 岡田卓也
2004 10p (D.2630) | 「勝者の思考法」 二宮清純 2004 16p (D.2690) |
| 「カビと環境」 宮治 誠 2004 2p (D.2790) | 「動物園で暮らしています」 小菅正夫 2004 4p
(D.2500) |
| 「人間再発見」 藤本義一 2004 2p (D.2790) | |
| 「文化財赤十字構想について」 平山郁夫 2004 9p
(D.2580) | |

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー)]

RI 会長代理決定



今年度、地区大会にご臨席いただく国際ロータリー会長代理は、第2770地区石井治パスト・ガバナー(春日部RC)に決定いたしました。ご略歴等につきましては、次号のガバナー月信にて改めてご紹介させていただきます。

(財)ロータリー米山記念奨学会 2004年8月12日発行

ハイライトよねやま 54

1. 寄付金速報～2004-05年度厳しいスタート

2004-05 年度が始まりました。7月の寄付金は約2億8百万円で、前年度に比べて6.7%減、約1千5百万円の減少となりました。普通寄付金が2.9%減、特別寄付金が19.1%減と、かなり厳しいスタートです。今年度は15億1千万円の予算目標を立てています。2005年4月から奨学生数は800人に縮減、奨学金額は7%の減額が決定しました。今後、少しでも支援の輪が広がるよう、引き続き米山奨学金にご協力ください。よろしくお願ひ申し上げます。

2. 2005学年度の指定校371校が決定～ホームページで公開中

いよいよ2005学年度の指定校が、各地区の選考委員会によって決定されました。2005学年度は奨学生の採用数が減少することもあり、指定校は昨年より30校少ない371校となりました。米山奨学金(学部・修士・博士課程)の募集要項については、奨学金額の減額(学部課程は12万円 10万円、修士・博士課程は15万円 14万円)、小論文テーマの変更などの改定点があります。ロータリー米山記念奨学会のホームページにおいて、指定校および募集要項を掲載していますので、ぜひ一度ご覧ください。

ロータリー米山記念奨学会ホームページ<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

3. 地区米山奨学委員長からの便り《パート1》

～米山奨学生による中国伝統楽器・二胡のミニコンサート卓話が大人気～(第2630地区【岐阜県・三重県】)

二胡という楽器をご存知でしょうか。最近、日本でも人気急上昇中の中国伝統楽器です。第2630地区の藤田委員長が、米山奨学生による二胡ミニコンサートについて投稿してくださいました。

米山奨学生の梁^{リョウ}天^{テン}任^{ニン}君【中国出身/世話クラブ伊勢南RC】は、三重大学教育学部修士課程に在籍し、中国伝統音楽の研究をしています。そこで2630地区米山奨学委員会では「梁天任・二胡ミニコンサート卓話」を企画しました。7月28日夕方、不破の関RC主催の二胡コンサートを垂井文化会館(岐阜県垂井町)で開催しました。ロータリアンだけではなく、一般の人も含めた約80名の聴衆は、梁天任君が演奏する二胡のやさしい音色に酔いしれました。すばらしい1時間でした。この企画は大変な人気で、申し込みが殺到しています。

「ロータリーの皆さまに、中国伝統楽器である二胡の良さを知っていただく機会ができて、僕も大変うれしいです。がんばって演奏します」と梁君は語っています。二胡を肩にかけて、彼の卓話行脚が当分続きます。



二胡について語る梁 天任さん

4. 地区米山奨学委員長からの便り《パート2》

～開業50周年を記念して、特別寄付～(第2730地区【宮崎県・鹿児島県】)

第2730地区の函師委員長から、「医院の開院50周年を記念して」と、特別寄付を頂きました。函師委員長は、今回の寄付について、次のようなメッセージを寄せてくださいました。

2730地区では毎年7～8クラブの創立記念祝賀会が開催されています。私は2002年度より、クラブ創立記念事業の一環として米山奨学会に対する特別寄付を強くお願いしていましたが、昨年度は、ほとんどのクラブから創立経過年数に応じた寄付を頂きました。

今年、私は開院50周年を迎えました。日本のロータリアンとして改めて米山奨学事業の意義を再認識するとともに、過ぎた50年を振り返り、お世話になった多くの方々への感謝の意を込めて、特別寄付をさせていただきました。

ロータリアン自身の経営される会社や事業についても、クラブ創立記念寄付と同じ趣旨での特別寄付は如何なものでしょうか。

私は今年度も寄付増進の一助として、これを推進して参りたいと思っています。

5. 米山学友の活躍～アーカンソー大学ロースクール教授ロバート・B・レフラーさん～



アメリカ合衆国出身の米山学友、ロバート・B・レフラーさん【1973-74 / 東京大学大学院 / 東京神田RC】は、アーカンソー大学ロースクールの教授で、「医療と法」の日米比較研究の第一人者です。

『ロータリーの友』2004年2月号のよねやまだよりにおいて、「世界に飛躍する米山学友」の一人として紹介したこのレフラーさんが、東京大学との夏期共同研究のために来日。7月末にロータリー米山記念奨学会事務局を訪れてくれました。30年前の米山奨学生時代に思いを馳せ、ロータリアンとの交流の思い出話を流暢な日本語で語る姿が印象的でした。

ハーバード大学在学中に、故ライシャワー博士の授業を聴講して、日本に興味を抱いたのが留学のきっかけだったといいます。2002年には勤草書房から「日本の医療と法 - インフォームドコンセント・ルネッサンス」を出版。日本の医療界の変遷を10年にわたって丹念に追いかけたこの本は、「医療関係の過去の事例、裁判の判例、また関連する法律等もとてもよく調べてあり、素晴らしい」と、Amazon（オンライン書店）の読者レビューでも高く評価されています。

ロータリー米山記念奨学会ホームページでは「ハイライトよねやま」として最新ニュースをお伝えしています。月信等にご活用ください。ガバナー・理事・米山奨学委員長その他希望者にはe-mail等で配信しています。
<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

(財)ロータリー米山記念奨学会編集担当：^{みな}の^のづ^{おほ}ぼ
峯・野津・大庭
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc 会館ビル8階
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

10月は米山月間です

来月、10月は米山月間です。ロータリー米山記念奨学事業について、会員の皆様にご理解とご協力を頂けるよう、特別なプログラムを实践するよう要請されております。各クラブにおいて米山記念奨学生の卓話等を例会に取り入れていただき、奨学会活動により一層のご理解を深められることを希望いたします。

奨学事業、卓話等のお問い合わせは右記にお願いいたします。

「遠藤ガバナー事務所」

Tel 0143-82-2510 Fax 0143-82-2512

E-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp

「地区米山記念奨学委員会」 委員長 竹原 巖

Tel 011-781-2671 Fax 011-781-2673

携帯 090-8370-0737

E-mail : iwao@takehara-iron.jp

100周年にちなんだ地域・クラブ紹介

わが街・我がRC

歴史散歩

～地域と共に歩んで～



創立30周年記念
苫小牧駅前にソーラー式時計塔を寄贈

ソーラー時計の除幕式

苫小牧ロータリークラブ



発会1周年記念 1958.1.24 於富士館



姉妹クラブの歓迎交流会



奨学制度



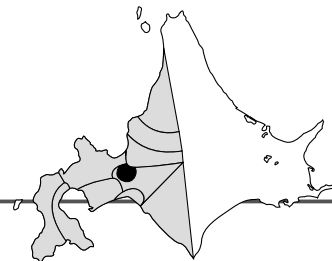
植樹行事

苫小牧ロータリークラブは、1956年8月に室蘭RC会長、小林秀光氏の勧誘を受け、室蘭RCをスポンサーとして、24名のチャーターメンバーをもって創設された。全国では200番目、北海道では13番目のクラブの誕生である。1957年6月8日のチャーターナイトには、伊東文吉ガバナー（新潟RC）はじめ、全国より150名を超える多くの方々が列席し、盛大に開催された。初代会長には早川昇氏。副会長に岩倉巻次氏、幹事に宮本義勝氏が就任し、歴史ある当クラブの一頁を飾るにふさわしい任務を發揮された。

1961年9月10日（特別代表 中村清一郎）には浦河RC、1970年1月20日（特別代表 蔦森春明）に苫小牧北ロータリークラブが当クラブのスポンサーによって誕生した。同年11月27日には、相模原RCと姉妹クラブの締結を行った。1981～82年度当地区ガバナーとして当クラブより佐久間三八氏を選出。苫小牧から初めて地区ガバナーを輩出した。

苫小牧の街と共に成長してきた当クラブも今年で47年を迎え、名実ともにRCとしての一任を果たすと共に数多くの奉仕活動を行ってきた。クラブ創設以来の事業であるクラブ奨学金制度は、1958年から続いており、苫小牧市育英会より推薦された高校生3名（3年生まで9名）に毎月授業料を贈呈している。1961年、当クラブ、苫小牧民報社、市社会福祉協議会共同でのナナカマドの植樹を市民運動として提唱、植樹を行ってきた。1970年以降はクラブの独自事業として移行、継続している奉仕活動である。

1905年（100年前）の苫小牧というと3年前の1902年に二級町村制が施行され、周辺村の合併により新たな苫小牧村が誕生し、4年後の1909年の樽前山の大噴火、1910年の王子製紙苫小牧工場の操業開始と、歴史・経済が未来に向けて大きく動き始めた時代だったのではないのでしょうか。（大森 記）



こんにちは！

第5グループです

第5グループ ガバナー補佐 丸山 淳士
(札幌真駒内RC)

私たちのグループは札幌市内のクラブで、札幌東、札幌南、札幌幌南、札幌清田、新札幌、札幌真駒内、札幌大通、札幌セントラルの各クラブで構成されています。伝統有るクラブと新生のクラブとが一緒になっています。

会員数第一位を独走している札幌東クラブは、他のクラブが会員数を減らしている中、強力な増強活動により新会員を増やしております。また、次年度はガバナーのクラブとなります。

幌南クラブは2510地区に最多の17名に及ぶ役員を送り出し、地区の活動に多大な貢献を続けております。

札幌南クラブはその伝統を守りながら堅実な活動を続けております。

真駒内クラブも昨年30周年を迎えて中堅クラブとして地域に根付いた活動をしております。新札幌クラブは少数精鋭で個性あふれた奉仕活動をしております。

清田クラブは女性会員も多く、さらなる会員増強に頑張っております。新しい大通りクラブは街頭でポリ



オ募金を行ったり活気あふれた若々しい活動をしております。

セントラルクラブが一番新しいだけにクラブ内部の親睦を深め、新会員の掘り起こしに頑張っております。

今年度はグループ内でのクラブ交流に重点を置き、お互いに情報交換しながら共栄していく道を探っていきたいと思っています。

遠藤ガバナーがメジャードナーになりました

この度、遠藤秀雄ガバナー（登別RC）がロータリー財団のメジャードナー（大口寄付者）となりました。

8月8日に東京で行われた「ロータリー財団地域セミナー」の席で玉村文夫同財団管理委員（東京RC,D2580PG）より表彰を受けました。尚、地区での表彰は10月の地区大会時に行われる予定です。



R財団より贈られたクリスタル製の賞物とダイヤモンド・ピン

掲 示 板

ロータリーレートについて

8月1日から1ドル108円となっております。

例会の変更について

余市RC

9月1日(水) 6:00~ 於:余市河口港親水公園
8日(水) 11日(土) 4クラブ合同例会に振替
17:00~ 於:いわない
高原ホテル
9月29日(水) 18:30~ 於:海幸そーらん

滝川RC

9月2日(木) 4日(土) 7:30~例会,
8:00~野球大会に振替
3日(金) 地区親睦野球大会(前夜祭)
18:00~ 於:松尾ジギスカン
16日(木) 12日(日) 移動例会に振替
「井原正巳のサッカー教室
2004」
9:00~ 於:空知川河川
敷サッカー場

23日(木) 休会

岩見沢東RC

9月7日(火) 移動例会に振替
「家族親睦キャンプ」
18:00~ 於:美流渡

蘭越RC

9月7日(火) 蘭越八幡神社祭りのため休会

砂川RC

9月8日(水) 移動例会 12:30~

於:ホール西願寺
(砂川市東1条南5丁目)

10月14日(木) 職場訪問移動例会 12:30~

於:砂川自動車学校
(砂川市東5条北8丁目)

江別西RC

9月14日(火) 社団法人 江別青年会議所との合同例会
18:30~ 於:江別市民会館37号室

苫小牧RC

9月23日(木) 休会(法定休日)

ご訂正願います。

7月27日付にてご依頼いたしました「2005年スペシャルオリンピックス冬期世界大会協賛について」中の振込先が、名義人: NPO法人スペシャルオリンピックス日本理事長細川佳代子 とありますが、NPOを特定非営利活動にご訂正下さい。

ガバナー事務所からのお願い

クラブの出席報告は、毎月の最終例会から15日以内にお願ひ致します。(FAXもしくはE-mail)

変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。また会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告願います。

クラブの移動例会等は地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。

各月ごとのクラブ会報を当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

ガバナー月信へ原稿をお寄せ下さい。特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1~2枚をご同封願えればと考えています。原稿締切り日は毎月10日を予定しています。

7月会員増減数・出席率報告



グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			04.7.1	04.7.31	増減	内女性	
1	深川	4	40	42	2	1	87.82
	羽幌	4	47	47	0	1	70.11
	妹背牛	4	10	10	0	0	95.00
	小平	5	14	14	0	0	71.43
	留萌	4	59	59	0	0	91.00
小計			170	172	2	2	83.07
2	赤平	4	36	34	-2	2	87.26
	芦別	5	54	54	0	0	87.14
	砂川	4	54	54	0	0	95.23
	滝川	5	109	109	0	2	75.00
小計			253	251	-2	4	86.16
3	美唄	5	42	42	0	0	90.00
	江別	5	43	43	0	1	89.26
	江別西	5	37	37	0	3	89.72
	岩見沢	5	94	94	0	0	89.11
	岩見沢東	4	37	38	1	3	82.48
	栗沢	4	26	26	0	1	98.23
	栗山	4	29	29	0	2	96.84
	当別	4	38	38	0	1	87.57
小計			346	347	1	11	90.40
4	札幌	4	123	128	5	0	98.64
	札幌あけぼの	5	16	17	1	1	100.00
	札幌はなます	4	24	24	0	4	82.61
	札幌北	3	49	49	0	5	95.92
	札幌モーニング	4	54	56	2	0	74.80
	札幌西	4	69	69	0	3	90.16
	札幌西北	5	48	48	0	2	95.42
	札幌手稲	5	39	40	1	1	100.00
	小計			422	431	9	16
5	札幌東	5	125	128	3	0	99.16
	札幌清田	4	26	27	1	5	100.00
	札幌幌南	5	69	72	3	0	100.00
	札幌真駒内	4	44	44	0	2	91.23
	札幌南	3	91	94	3	0	97.50
	札幌大通公園	3	19	19	0	4	68.41
	札幌セントラル	4	19	19	0	8	63.00
	新札幌	4	36	37	1	2	88.41
小計			429	440	11	19	88.46
6	岩内	5	33	33	0	0	80.00
	倶知安	4	54	54	0	3	78.00
	小樽	4	74	75	1	0	85.24
	小樽南	5	86	85	-1	0	84.80
	小樽銭函	5	23	23	0	2	83.00
	蘭越	4	14	14	0	0	71.40
	余市	4	43	43	0	4	92.44
小計			327	327	0	3	80.36

クラブ数 72クラブ
 期首会員数 3,138人
 当月末会員数(女性) 3,180(88)人
 増加会員数 42人
 当月平均出席率 84.45%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			04.7.1	04.7.31	増減	内女性	
7	千歳	4	65	68	3	2	75.50
	千歳セントラル	4	30	30	0	0	81.70
	恵庭	4	51	51	0	0	86.82
	北広島	3	19	19	0	2	88.24
	長沼	3	18	18	0	3	91.20
由仁	4	15	15	0	0	86.67	
小計			198	201	3	7	87.31
8	えりも	5	24	24	0	0	82.50
	三石	3	17	17	0	1	82.30
	様似	4	19	19	0	2	80.92
	静内	4	67	69	2	0	83.40
	浦河	4	40	40	0	1	100.00
小計			167	169	2	4	85.60
9	伊達	4	56	59	3	0	84.35
	室蘭	5	51	52	1	0	93.27
	室蘭東	4	43	43	0	0	90.00
	室蘭北	4	37	37	0	2	100.00
	登別	4	39	39	0	2	84.62
	洞爺湖	5	10	10	0	0	80.00
小計			236	240	4	4	83.52
10	函館	5	101	102	1	0	80.66
	函館亀田	3	42	42	0	1	88.89
	森	4	43	43	0	0	74.00
	七飯	4	24	24	0	0	70.80
長万部	3	13	13	0	0	79.40	
小計			223	224	1	1	75.04
11	江差	4	16	16	0	0	74.00
	函館五稜郭	5	68	68	0	0	89.62
	函館東	4	50	58	8	7	82.09
	函館北	4	37	39	2	0	84.11
	上磯	5	29	29	0	3	64.80
松前	4	9	9	0	1	55.56	
小計			209	219	10	11	75.97
12	白老	4	29	29	0	1	76.00
	苫小牧	5	56	57	1	0	75.52
	苫小牧東	5	32	32	0	3	84.87
	苫小牧北	4	41	41	0	2	86.53
小計			158	159	1	6	85.29
合計			3,138	3,180	42	88	84.45

新入会員のご紹介



大林 強
滝川RC
7月1日入会



小原 正邦
滝川RC
7月1日入会



富樫 悟
滝川RC
7月1日入会



米田 輝満
滝川RC
7月1日入会



榊原 明彦
苫小牧RC
7月2日入会



西田 啓一
苫小牧RC
7月2日入会

訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに、
心からご冥福をお祈りいたします。

坪谷 六郎 会員(滝川RC)
2004年5月30日ご逝去(享年84歳)

【ロータリー歴】

1963年12月15日入会
1980～81年度 会長
1985～86年度 第2分区代理
1978～79年度(PHF)
2002～03年度(MPHF)
2002～03年度(ベネファクター)
1997～98年度(米山功労者)



谷田 涼一 会員(栗山RC)
2004年8月14日ご逝去(享年84歳)

【ロータリー歴等】

1970年1月16日 入会(チャーターメンバー)
1971～1972年度 第2代会長
1978～1979年度 第2分区代理
1991～1992年度 会場監督
1995年03月11日 創立25周年式典総務委員長
1995～1996年度 職業分類委員長
1998～1999年度 ロータリー財団委員長
1998年11月14日 IM運営委員長
2003～2004年度 ロータリー財団委員長
ポール・ハリス・フェロー



渡辺 寿昭 会員(札幌西RC)
2004年7月2日ご逝去(享年69歳)

【ロータリー歴等】

1982年8月31日入会
2001～02年度 幹事
親睦活動、出席、SAA、会計、職業分類各委員会委員長を務められました。



9月10月 地区カレンダー

9 月 新世代のための月間		10 月 職業奉仕月間 / 米山月間	
1 (水)		1 (金)	
2 (木)		2 (土)	
3 (金)	地区親睦野球大会・前夜祭	3 (日)	ガバナー・ノミニー候補者推薦締切日
4 (土)	地区親睦野球大会(滝川)	4 (月)	公式訪問/北広島・恵庭・長沼・由仁RC (12:30,北広島プリンスホテル) 第3350地区GSEメンバー来日
5 (日)		5 (火)	公式訪問/千歳・千歳セントラルRC (12:30,ホテル日航千歳)
6 (月)		6 (水)	公式訪問/室蘭・室蘭東・室蘭北・登別RC (18:30,蓬嶽殿)
7 (火)	公式訪問/栗山・栗沢RC (12:30,栗山パラダイスヒルズホテル)	7 (木)	
8 (水)		8 (金)	
9 (木)	北広島RC創立25周年記念式典・ゴルフ大会(北広島プリンスホテル)	9 (土)	
10 (金)		10 (日)	
11 (土)	ライセミナー・シニアクラス(札幌, JR研修センター)	11 (月)	地区大会記念囲碁大会(札幌, 日本棋院北海道本部)
12 (日)	第1回GETS及び地区研修リーダーのための研修会(東京)	12 (火)	
13 (月)		13 (水)	
14 (火)	公式訪問/函館東・函館五稜郭・函館北RC (12:30,函館国際ホテル) 公式訪問/上磯・江差・松前RC (18:30,同上)	14 (木)	
15 (水)	公式訪問/函館・函館亀田RC (12:30,函館・ホテルオークランド) 公式訪問/七飯・森・長万部RC (18:30,大沼プリンスホテル)	15 (金)	地区大会記念ゴルフ大会(登別カントリー倶楽部)
16 (木)		16 (土)	地区大会第1日目(祝いの宿登別グランドホテル)
17 (金)		17 (日)	地区大会第2日目 (日本工学院北海道専門学校, 第一滝本館)
18 (土)	ライセミナー・ジュニアクラス(札幌, NTTセミナーセンター)	18 (月)	
19 (日)		19 (火)	
20 (月)	敬老の日	20 (水)	
21 (火)	公式訪問/洞爺湖・伊達RC (12:30,洞爺湖・万世閣)	21 (木)	
22 (水)		22 (金)	
23 (木)	秋分の日	23 (土)	
24 (金)		24 (日)	
25 (土)		25 (月)	函館RC創立70周年記念式典(17:00,函館国際ホテル)
26 (日)		26 (火)	
27 (月)		27 (水)	
28 (火)	公式訪問/浦河・えりも・様似RC (12:30,浦河ウエリントンホテル)	28 (木)	
29 (水)	公式訪問/静内・三石RC (12:30,静内ウエリントンホテル)	29 (金)	
30 (木)		30 (土)	
		31 (日)	第3350地区GSEメンバー帰国



1905-2005
100 Years
Serving humanity
ROTARY



www.rotary.info



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL
2004-2005
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER